

Johodai

北海道情報大学広報誌

# となかまど

VOL  
**61** 2014(H26)年9月1日発行



# 北海道情報大学 広報誌 ななかまど

2014 (H26) 9月1日

## CONTENTS — もくじ

# VOL. 61

|       |  |
|-------|--|
| 01    | 表紙                                     |
| 02    | 目次 HIU 大学紀要                            |
| 03    | 北海道情報大学の教育について (3) 富士学長                |
| 04    | 平成 26 年度入学式                            |
| 05    | 平成 26 年度第 1 回保護者の会<br>春の食改善運動、保健センターから |
| 06    | 新任教員の紹介 先端経営・栗山敏准教授 システム情報・渡部重十教授      |
| 07    | 新任教員の紹介 医療情報・佐藤裕二教授、高橋文教授              |
| 08    | 新任教員の紹介 医療情報・奥村昌子准教授、佐瀬雄治講師            |
| 09    | 新任教員の紹介 情報メディア・伊藤一正准教授、福光正幸講師          |
| 10    | 体育祭の報告 学生実行委員会                         |
| 11    | 北海道情報大学大学院からのお知らせ                      |
| 12    | 南京大 IT・日本語クラス 8 期生編入学。「日本語」弁論大会        |
| 13    | この先生の裏の顔 情報メディア学部 平子玲子先生               |
| 14    | ゼミ紹介 先端経営学科松本ゼミ 医療情報学科喜多ゼミ             |
| 15    | ゼミ紹介 情報メディア学科福光ゼミ 学生アート活動 UNIPA の報告    |
| 16    | クラブ紹介・軟式野球部                            |
| 17    | 女子カフェ                                  |
| 18-19 | 決算報告・主要行事等                             |
| 20    | ななかまど編集隊                               |

### 北海道情報大学 紀要 25-2

北海道情報大学紀要（英：Memoirs of Hokkaido Information University）は、大学北海道情報大学が定期的に発行する学術雑誌です。紀要発行の意義は、研究発表の場を確保することにあります。北海道情報大学では毎年 2 回紀要が発行され、内容は、論文のほか、解説、研究ノート、報告などが載せられています。本学の教員が研究者として日常取り組んでいる研究テーマをここに掲載いたします。また、内容をご覧になりたい方は、ウェブサイトでご覧いただけますので、右記の URL からご覧ください。

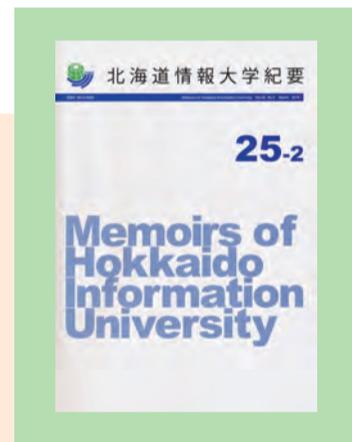
#### 《 論 文 》

- 社会科教育法に関する一考察  
—生活現実との切り結びと新自由主義をめぐって— 小西 二郎
- ＜進路指導—学習指導・生徒指導＞  
の下方スパイラル的困難化に関する予備的考察 小西二郎 高島裕美
- 四半期キャッシュ・フロー情報を任意開示した企業の特性 松本紗矢子
- 日本の大学生に対する CLT 授業方法の試験的導入 ライアン ジョエル P.

- 若年日本人女性のやせ型体型が潜在的健康障害に及ぼす影響の解明  
佐藤浩樹 西平順 吉岡英治
- 北海道情報大学における講義活性化支援ツールの開発 安田光孝 向田茂 谷川健 穴田有一
- Moodle の新しい機能ブレンド型授業導入のために 広奥暢

#### 《 研究ノート 》

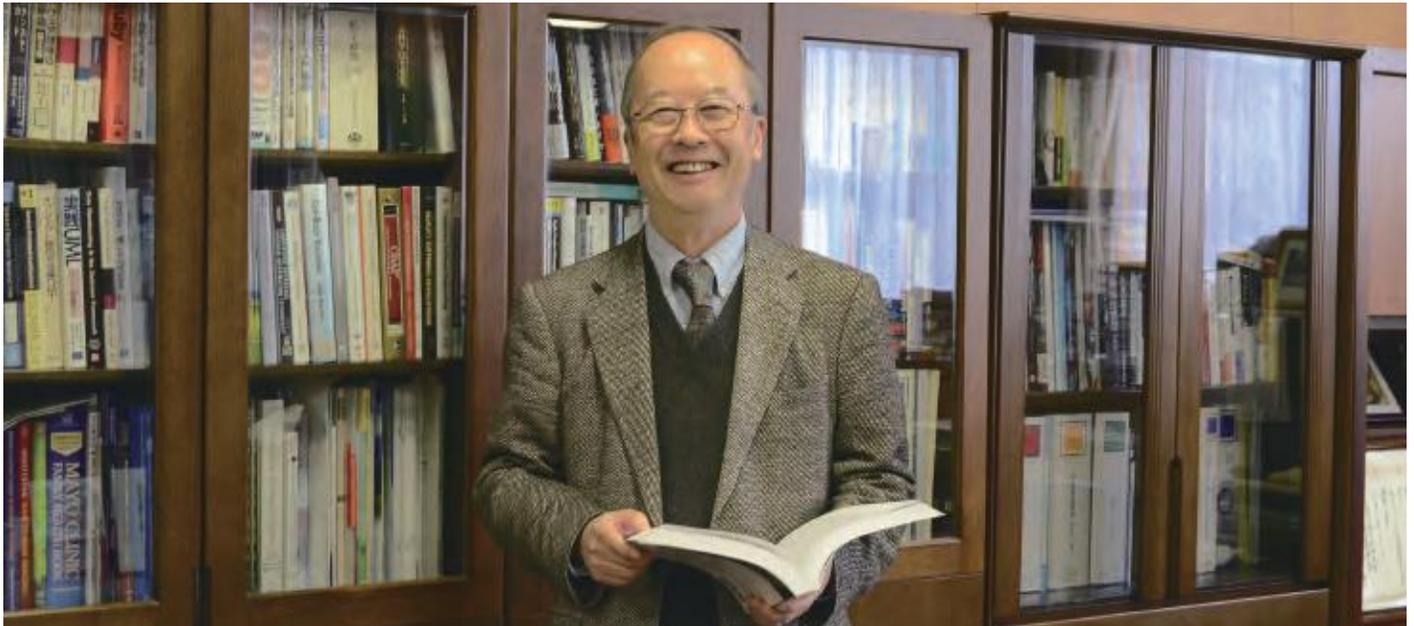
- 高校数学における発展的オプション教材の意義について 林雄一郎



[http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou\\_25\\_2.html](http://www.do-johodai.ac.jp/kiyou/kiyou_25_2.html)

#### 《 報 告 》

- 外国語授業における教員と学生の発話分析 竹内典彦 チャールズ・マクラーティ 荒木陽子 玉置重俊 田中英夫 梅津真 飯嶋美知子 田中里実 天野尚樹



### 情報大学の「すごい」を

今回の北海道情報大学の凄い事実（日本の大学で初めて）は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な取り組み（FD: ファカルティ・ディベロップメント）として、ICTの利活用によって授業改善のための情報を共有し、PDCA サイクルを回しながら推進するモデルを構築し、FD 先進国である米国でも高く評価されたことです。

### 先生も頑張っている！

平成 20 年 4 月、大学設置基準等の改正により、日本の大学には、FD が義務化されました。本学でも、新たに FD 委員会を立ち上げ、半数以上の教員が関わりながら 8 つの作業部会 (WG) でスタートしました。そして、平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム」(教育 GP) に申請し、採択されることとなります。全国の大学等から 939 件の申請があり、148 件 (15.8%) の取組が選定され、本学の教育 GP 3 年プロジェクト「ICT による自律的 FD 推進モデルの構築」が

スタートしたわけです。

### 学生の意見も尊重します

これまでにない多様な学生の増加という中で、教育の質の保証が求められています。教育 GP プロジェクトでは、授業の改善に必要な情報をファカルティポートフォリオというデータベースに蓄積し、教員が情報共有しながら PDCA (計画・実施・評価・改善) サイクルをまわす FD 支援システム (CANVAS) を構築し、その成果を学生に還元することを目標としました。また、システム開発と併せて、教育の質の向上につながる諸制度として、「学生による授業評価アンケート」、「ピアレビュー」、「カリキュラム・アドバイザーボード会議によるカリキュラムの見直し」、「GPA 制度」、「チュータ制度」、「Own Teacher 制度」などを導入しました。中でも、教員が相互に授業参観し、優れた授業内容や方法を参考にするピアレビューは、全教員が取り組んでいます。また、産業界等の識者から本学のカリキュラムや授業内容等

に関して貴重な意見を頂き、改善を図るカリキュラム・アドバイザー会議は、他大学に先駆けて実施している優れた取組です。

### そして学生参加の改革が実現

CANVAS のシステム開発は、教員、MEC (メディア教育センター)、そして本学学生スタッフとのコラボレーションの成果です。特に、このプロジェクトに参加した学生の皆さんは、システム開発の現場を経験することで大きく成長しました。このようなリアルプロジェクトに学生が参加出来るのも、北海道情報大学の魅力です。さらに、学生の目線から授業改善のアイデアや意見を出し、直接学長と議論する機会のある「学生 FD」も立ち上がりつつありますので、積極的に参加してほしいと思います。その事が、学生の皆さんの成長にもつながると思います。

 to be continued



## 北海道情報大学平成26年度 入学式

4月4日（金）午前10時から、本学松尾記念館講堂において、平成26年度北海道情報大学入学式を挙行了しました。式の模様は、式場に設置されたテレビカメラにより、保護者室（211教室、212教室、213教室）と全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、新情報大学生としてスタートしました。

式の中では、入学生代表として佐佐木諒太さん（情報メディア学科1年）

が、南京大学編入学生代表として朱晓瑞さん（情報メディア学科3年）が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。

式終了後には、新入生と保護者に対して、建学の理念、本学の開学に至った経緯等について知っていただくためのビデオ上映、その後、学科・専攻ごとに分かれて場所を教室に移し、入学生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねた学科別等ミーティングが行われました。（総務課）



宣誓を学長に手渡す入学生代表佐佐木諒太さん



平成19年から実施している、中国南京大学と本学との共同事業『IT・日本語クラス』の8期生4名が、平成26年4月、晴れて本学の経営情報学部と情報メディア学部の3年次に編入学しました。

### 南京大学からIT・日本語クラス8期生が本学に編入学

この共同事業は、南京大学外国語学院と本学との国際交流協定に基づき、まず南京大学外国語学院で2年間、ITと日本語の基礎を勉強します。その後、編入学試験を受けて本学の学部3年次に編入学して2年間、専門科目を修めて本学を卒業し学士の学位を目指すというものです。

彼らは、今年の3月9日に日本へ来ました。東北大震災、福島原子力発電事故から3年が経過しましたが、まだまだ復興が続く日本で留学することは、学生達にとっては様々な面で貴重な体験となることでしょう。この日本での留学生生活が彼らの人生にとって有意義なものになることを期待しています。

## ■ 本学 eDC タワーで保護者の会役員会を実施

今年度第 1 回目の保護者の会役員会を 5 月 30 日（金）に、本学 eDC タワー 2 階カフェレストランにおいて開催しました。

開会にあたり、富士隆学長から保護者の会に対するお礼を含めた挨拶と本学の現状等についての説明がありました。

その後、1 年生の保護者から新規役員 5 名を選任し、出席者の自己紹介が行われました。

次いで大学からの現況・行事等の報告として、山本法人本部長から大学の概要についての説明がありました。続いて、若松就職部長から平成 25 年度卒業生の就職率及び平成 26 年度の就職指導スケジュールについて、梅津学生部長から学生生活について、学生サポー

トセンター事務室長から平成 26 年度の学内行事についてそれぞれ説明がありました。

役員会終了後の懇親会においては、保護者の会役員の皆様と学生生活・就職活動状況などについて懇談が行われ、ご子弟にかかる期待と愛情のこ

もった話し合いに、瞬間に時間が過ぎ、会を終了しました。

役員の皆様には、ご多忙にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。



## ■ 春の食生活改善運動（1 コイン朝食）開催される

本学をはじめ、江別市に所在する 4 大学（本学、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学）の共同企画「食生活改善運動 1 コイン（100 円）朝食」が 5 月 28 日から 30 日まで行われました。この運動も、今回で 13 回目（平成 20 年度から春・秋に実施）を迎え、JA 道央から江別産米の「瑞穂のしずく」を提供いただくなど、多くの機関の支援・協力のもと、ボリュームいっぱいの朝食を提供いたしました。

朝食は、心身共に健康な学生生活を送るための基礎になります。しかし、親元から離れて生活していると、だんだん健全な食生活から離れ、次第に朝食の欠食が多くなっているのが実情です。朝食によって、一日の始まりとし

てのエネルギーをしっかりと取ってもらい、朝食を食べる習慣づけができればと 1 コイン（100 円）でこの運動を実施しています。

また、10 月下旬には、秋の食生活改善運動を実施する予定です。



### 3 日間のメニュー

#### 5 月 28 日（和食メニュー）

鯖の竜田揚げ、厚焼き玉子、野菜ツナサラダ、豚肉と切干大根のピリ辛炒め、ライス、味噌汁、お新香 牛乳 or オレンジジュース

#### 5 月 29 日（洋食メニュー）

バターロール、発芽ロール、食パン、ナポリタンスパゲティ、チキンナゲット、ゆで卵、たっぷり野菜のクリームスープ、ジャガイモの和えサラダ、牛乳 or オレンジジュース

#### 5 月 30 日（中華メニュー）

鶏の山椒唐揚げ、春巻き、焼売、肉味噌チャーハン、春雨サラダ、玉子スープ、パイナップル、牛乳 or オレンジジュース

### ▼ 5 月 30 日のメニュー（中華）



新任教員からのごあいさつ / 経営情報学部



4月に経営情報学部に着任した渡部重十です。宇宙情報システムコースで宇宙情報関連の講義とゼミナールを担当します。

北海道生まれの生粋の道産子です。北海道での美しい星に魅せられ、将来は天文をやってみたいと思っていました。ところが、アポロ計画で月面に人類が足を踏み入れ、私の計画は方向転換。将来は宇宙飛行士。でも、当時は



【経歴と大学教員になろうと思った動機】

私は1982年に日本IBMというIT企業に入社し、30年間の勤務の中で顧客企業担当営業、コンサルタント、セミナー講師などを担当してきました。現在54歳ですが、40代半ばを過ぎる頃から、企業でやるべきことは一通りやったという達成感と同時に、これからは別のことに取り組みたいという気持ちが強くなってきました。そこで次世代のリーダーを育てる大学教員という仕事に魅力を感じ始め、今春

システム情報学科 教授 渡部重十

日本の宇宙飛行士は誰もいなかったし、その計画すらありませんでした。日本のロケットが人工衛星を打ち上げ始めたころです。だったら、私の身代わりを宇宙に送り込んでみたいということで、人工衛星や惑星探査機による宇宙の研究を大学で始めました。私が、搭載機器の製作などで直接関わった人工衛星は3機、惑星探査機は2機です。この中の2機は、現在も宇宙空間を飛行し観測しています。

宇宙は謎が多く、開発や研究で苦労しますが、人工衛星や探査機が完成してデータの取得ができたときには、すばらしい達成感があります。最近は、宇宙の情報や宇宙から地球の情報な

「宇宙はおもしろい」

ど、宇宙や地球に関連する膨大なデータで溢れています。ビッグデータと呼ばれています。北海道情報大学では、学生・教職員・関連する企業の皆さんと膨大な宇宙情報を利用して私たちの生活に役立つ情報をいかにして取り出すか、考えたいと思います。やってみたらおもしろい、わくわくする、そのような講義やゼミナールを目指して教育研究を進めたいと思います。



先端経営学科 准教授 栗山 敏

本学にて希望が叶ったという次第です。

【専門と研究分野】

私の専門は経営情報学です。企業では情報システム構築の上流工程である、企画・構想立案段階の仕事に長く携わってきました。研究テーマは情報システム構築プロジェクトの成功要因であり、それを経営者を初めとするステークホルダーの支援行動のあり方という観点から探究しています。

【学生の皆さんにお伝えしたいこと】

企業人に求められるのは、課題発見能力を含む課題解決能力です。これを持てれば、企業はやりがいの感じられる楽しい場所になります。その基礎的能力を身に付けるのが正にいまの学生時代なのです。私は企業で学生の採用

「希望がかないました」

にも携わってきましたし、本学でも就職委員を仰せつかっています。なので、採用する側の視点を盛り込んだ、実践的な就活アドバイスができると考えています。また授業やゼミでもそれらの価値を盛り込んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



新任教員からのごあいさつ / 医療情報学部



2014年4月より医療情報学部  
勤務しております佐藤裕二です。私は、  
もともと北海道出身で、大学も北海道  
で卒業後も一時期を除いて北海道内で  
仕事をしておりました。専門は医学分  
野です。研究面では、モノクローナル  
抗体の作製とその応用、マウスを使用  
した種々動物実験、癌細胞培養で抗癌  
剤の効果や抗体療法について携わって  
きました。その後、癌の免疫治療とし  
て樹状細胞を用いた遺伝子治療、癌抗  
原を応用した癌ワクチン療法の研究を  
行っておりました。教育面では、消化

医療情報学科 教授 佐藤 裕二

器系の講義・実習指導、輸血講義を行っ  
ておりました。最近では、看護専門学  
校の講義、若手の学会発表・論文指導  
や管理栄養士・診療情報管理士・医療  
事務、理学療法士（リハビリテーショ  
ン）、MSW（Medical Social Worker）  
とのディスカッションを行ってきました。  
その中で、栄養管理は免疫、QOL  
（Quality of Life）とも強く関連すること  
から、各病院でNST（Nutrition Support  
Team）の設置など重要性はますます増  
してきております。また、診療情報管  
理士、医療事務は、病院の在院日数・  
収入、術後食事開始時期、術後リハビ  
リなど自分の医療機関の状況を把握  
し、また診療報酬の包括（DPC：  
Diagnosis Procedure Combination）の

「道産子研究者です」

問題点を指摘し提言する上で重要な役  
割をしております。北海道情報大学に  
は、コンピューターを駆使した情報処  
理能力は優れており、自分自身がまず  
情報処理を学び、応用する能力を養い、  
医療情報学部で実践に役立つ人材育成  
に寄与したいと考えております。よろ  
しくお願いいたします。



4月から医療情報学科に着任しまし  
た高橋文です。今年度の担当科目は  
『診療情報管理Ⅰ・Ⅱ』『分類法総論』『病  
院実習』『診療情報演習』『ゼミナール  
・卒業論文』です。

今年の三月までは市立病院では診療  
情報提供や情報の管理・分析などの業  
務に就いていました。現在は、診療情  
報管理の講義を行っていますが、実は、  
理学部化学科の出身です。学部および  
大学院の3年間、「枯草菌の芽胞形成  
における分化」について研究を行いま

医療情報学科 教授 高橋 文

した。その後は関東地方の薬学部生薬  
学教室で「丁子の成分研究」を行い、  
自然界には珍しい化合物を発見しまし  
た。さらに同大学医学部に移った頃は  
バイオテクノロジーが目覚しい発展を  
し始めたところで、モノクローナル抗体  
や制限酵素など、遺伝子工学の技術を  
用いて、ベーチェット病の発症機序に  
関する研究を行いました。診療情報管  
理士として病院勤務をする中で、病理  
解剖により明らかとなった死因と死亡  
診断書に書かれた病名との間に相違が  
あることに気がつき、これが『死亡診  
断書の精度解析』の研究を始めるきっ  
かけとなりました。

振り返ってみますと、随分と様々な  
研究室や学問領域を渡り歩いてきたな

「感謝のころ」

あと思うと同時に、就職場所や研究領  
域を狭めず、いま置かれた環境の中で  
何かを追求してきたことが今に繋がっ  
たと思います。これは、いつも良き協  
力者・良き指導者に巡り会えたおかげ  
に他なりません。

「感謝のころを忘れずに、謙虚に。」  
私の信条としています。よろしくお願  
いします。



新任教員からのごあいさつ / 医療情報学部



本年4月に医療情報学科に着任しました奥村昌子です。よろしくお願いいたします。本学では、主に健康情報科学コースの専門科目、食品化学、栄養学などを担当します。

私はこれまで、保健センター、刑務所の管理栄養士として勤務した後、大学教員として管理栄養士の養成教育に携わってきました。10年ほど前からインドの農村地域で食品加工による収

医療情報学科 准教授 奥村 昌子

「健康なコミュニティづくり」

入向上プログラムや妊産婦と乳幼児の栄養向上プログラムの実践と研究をしています。これまでの仕事を一言で表すとしたら、「食を通した健康なコミュニティづくり」ということになります。健康なコミュニティ、それは、病気の有無にかかわらず、人が健やかな気持ちで生活ができる場です。そのようなコミュニティを生活の糧である“食”をキーワードに整えていくこと、その方法を実践活動と研究を通して考えてきました。その中で、健康や食に関する情報の活用と普及は、今後ますます、健康なコミュニティづくりの鍵になると考えています。そのため、情報の専門家集団といっても過言ではない本学で、各先生にご教授いただきながら、

学生と一緒に食を通した健康なコミュニティづくりと健康情報の活用について研究できるのではと楽しみにしています。

最後に、西平学部長、上杉学科長のお二人の“イクボス”を筆頭に、育児に温かな理解と協力を示してくださる同僚の先生たちと教育・研究ができる医療情報学科は、1歳になりたての息子を持つ私にとって、まさに“健康なコミュニティ”そのものです。



飲み会ではありません！栄養学のサンプルです。



4月に医療情報学部に着任致しました佐瀬雄治です。今年度は「病院管理論」「DPC マネジメント概説」担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は小学校から大学院卒業まで江別で育ってきた江別っ子です。進学・就職を期に江別を離れ、札幌・旭川と道内を移動してきましたが、また今年、江別に戻ってくることが出来ました。

医療情報学科 講師 佐瀬 雄治

「江別で育ち、江別に帰ってきました」

長年住んできた江別の空気を吸えることに幸せを感じていましたが、私が江別を離れている間に「えべちゅん」という謎の鳥が繁殖を始めているという噂を耳にし、まだまだ江別について知らないことがあり、修行が必要だなと感じています。

大学では放射線技術科学を専攻していましたが、その後医療情報・医療経営に興味を持ち始め、小樽商科大学大学院に進学し経営学を本格的に学び始めました。卒業後は医療法人に就職をし、事務職・研究職を経て、旭川市のクリニックにて事務長としてクリニック経営に携わっていました。その間の2年間、北海道情報大学にて非常勤講師を経験させていただいた後、何かの

ご縁があり、この4月から北海道情報大学に講師として赴任しました。

私のゼミでは「真面目にやるときは全力で真面目にやる。ふざけるときは全力でふざける。」をモットーにしており、私自身がゼミ生の見本となるよう、就業前後・休日問わず趣味のサーフィンやトレーニングに勤しんでいます。夏は肌が黒くなりすぎる傾向があるので、皆さん大目に見てください。



## 新任教員からのごあいさつ / 情報メディア学部



この度、ご縁がありまして、4月より北海道情報大学に勤務しております伊藤一正です。以後、よろしくお願いいたします。

早いもので赴任してから3ヶ月以上になります。この間、多方面で大学関係者の皆様に大変お世話になりました。衷心よりお礼申し上げます。

さて、本学の前は高等学校に勤めていましたので、大学勤務は初めてとなりますが、今の大学生の気質は昔と変

## 情報メディア学科 准教授 伊藤 一正

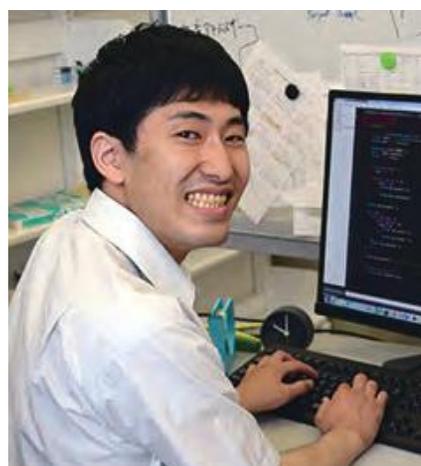
わっているかどうか関心を抱いておりました。しかし実際に本学の学生と接してみると、それほど大きくは変わっていない印象を受けています。私が大学に入学した40年程前は、学生運動の余韻がまだ残っている時代でした。ずいぶんと乱暴な者もいました。しかし本質的なところでは同じだと感じています。エジプトのピラミッドにも「最近の若い者は云々」と記されているそうですが、いつの時代にも年配者は若い人たちをそう見てきたのかもしれませんが。できるだけ、そうした目線で彼らを見ないように心がけている昨今です。

英語教育では、Jゼミで英検対策講座を受け持っています。学生は一生懸命勉強しています。何とか今年度中に

## 「心がけていること」

上級の検定試験合格者を出たいと思っています。

この未曾有の少子化の時代に、校種、公私を問わず、学校経営は厳しさを増しています。こうした環境下で、北海道情報大学のますますの発展のために、微力ながら一生懸命尽くしたいと考えております。今後ともご支援・ご協力のほどをお願い申し上げます。



4月より情報メディア学部に着任しました福光正幸です。よろしくお願いいたします。

私は今年3月まで東北大学で大学院生をしていました。これまで東北を離れたことがなかった私にとって、北海道は憧れの地でした。特に、卒業旅行では、時間を掛けて北海道を周りたいと思うほどでした。そのため、この地で生活できることは夢のようです。今

## 情報メディア学科 講師 福光 正幸

の楽しみは、時間を見つけては、札幌を始め様々な場所を巡り、街を散策したり、おいしい料理やデザートのお店を発見したりすることです。

さて、私は情報セキュリティと暗号理論を専門としています。学士課程では、ユーザのパスワード作成をソフトウェアにより支援する方法について、一方で、院生時代は、現代暗号の安全性について研究してきました。このように、実学的な研究から理論研究を始めようと思ったきっかけは、RSA暗号と呼ばれる暗号との出会いでした。これは、インターネット上で実際に使われている暗号です。何より驚いたことは、中学校までで習う数学の知識さえあれば、この暗号化アルゴリズムを

## 「情報を守る」

理解できることでした。なぜこの方式で人の情報を守ることができるのかという理由に深く興味が沸き、暗号理論の研究を始めました。

最後になりますが、この貴重な大学生活の中で、是非、学業でも、課外活動でも「いいな」と思うことに沢山触れてみたら良いのではないかと思います。特に、情報セキュリティに興味があれば、共に勉強できたら幸いです。



Athletic  
festival



HIU  
2014

2014体育祭 実行委員会 委員長 大森晃

例年開催しております体育祭ですが、今年度も6月20日・21日の両日、晴天下のなか行われました。学生の皆様や教職員のみなさまのご協力のもと、当日は約400名の参加者があり、盛大の内に大きな事故もなく無事終わることができました。心から御礼申し上げます。

体育祭の準備はエントリー受付やトーナメントの作成、交流会の準備など多岐におよびますが、実行委員会のスタッフの協力もあり委員長として職務を全うすることができました。

今年度の目標として、一般参加の学生の他、これまでにスポーツ経験の少ない学生の参加を促すべく、人気競技のドッ

チボールや綱引きなどを取り入れ参加者増を目指し、多くの方々に参加いただきました。また、交流会では、ジンギスカンの他に、新アイテムとしておにぎりを



追加したところ、盛況につき完食となり、運営側の一工夫が実った瞬間でした。しかしながら、交流会では誘導の不手際から参加者を長時間にわたり待機させてしまうなどの反省点もありました。

今後は10月の大学祭に向けて良かった面については継続できるよう努力し、課題についてはこれを乗り越えられるよう実行委員会一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

今回の体育祭のような大きな行事は我々実行委員会の努力だけでなく、学生、教員の方々のご協力がなければ作り上げることはできませんでした。改めまして、御礼申し上げます。これからは大学祭に向けての活動が始まります。体育祭での経験を活かし、皆様に楽しんでいただける大学祭になりますよう努力してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 北海道代表として 本学大学院生らが 全国大会に出場！



## 国内最大の学生ビジネスコンテストで 全国 866 件のうちの 14 件に選ばれました！

国内最大の学生ビジネス提案コンテスト「CVGキャンパスベンチャーグランプリ 2013」(主催：日刊工業新聞社)が開催され、本学大学院生らが提案したスマホアプリ「スクリーン・トーク」が地区大会で<最優秀賞>を獲得。北海道代表として、全国大会に出場しました。

全国大会は 2014 年 3 月 6 日に東京・霞ヶ関で行われ、全国からの応募総数 866 件のうち、地区大会を勝ち抜いた本学含む 14 組のチームが出場しました。プレゼンテーション 5 分という短い時

間ながら、「新規独創性」「事業市場性」「表現力」の 3 つを指標にビジネスアイデアを競い合いました。最終的に 6 チームが入賞しましたが、本学のチームは残念ながら賞を逃しました。

このコンテストへの参加は、本学大学院の講義「クリエイティブビジネス」(指導教員：安田光孝)の一環で行われています。この講義では、コンテンツやアプリ、IT サービスをどうビジネスとして成り立たせるかを考えます。

(情報メディア学科 安田光孝)

CVG キャンパスベンチャーグランプリ  
2013 北海道大会  
<最優秀賞>

「スクリーン・トーク (Screen Talk)」  
岩田まどかさん  
(リーダー 院 1 年※2013 年度)  
熊谷賢二さん (院 1 年※2013 年度)  
メンゼン・リーズさん  
(研究生※2013 年度)

CVG キャンパスベンチャーグランプリ  
2013 全国大会結果

<http://www.cvg-nikkan.jp/index/japan2013/>  
CVG キャンパスベンチャーグランプリ  
2013 北海道地区大会結果  
<http://www.cvg-nikkan.jp/index/hokkaidou2013/>

### スクリーン・トーク

言葉が通じなくともスタンプを使って外国の人と会話を楽しめるアプリ。必要に応じ、SWI からはスタンプで会話文を作成できます。



## 北海道情報大学大学院 経営情報学研究科経営情報学専攻(修士課程) 学生の学会発表について

|  |       |           |          |
|--|-------|-----------|----------|
| 情報処理学会 第 32 回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 (於：北海道大学) |       |           |          |
| 6 月 6 日  | 熊谷 賢二 | 情報処理プログラム | 修士課程 2 年 |
| 「プロジェクションマッピングを用いためり絵ツールにおける投影像と距離の関係」         |       |           |          |

ななかまど編集隊員、カナリ募集中。

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、もう、秋。

夏祭りや花火大会、学内では体育祭という大きな夏の行事が終わり、いつの間にかもう、ななかまど秋号の編集。秋です。最近では蒼天祭の準備が始まっています。今回の第 26 回蒼天祭、Live ゲストはなんと日本を代表するアニソングループ「JAM Project」のメンバーでもある福山芳樹さん、きただにひろしさん

にお越し頂く事になりました。学内で好きな方も多くいるのではないのでしょうか。8 月 15 日(金)～9 月 15 日(月)まで第 26 回蒼天祭 HP にてチケットの抽選応募を行っておりますので、気になる方は覗いて見て下さい。模擬店、イベント、ゼミ展示など Live 以外にも楽しい企画が目白押しです! 楽しい行事が

終わると、3 年生は就職活動を意識したり、4 年生は卒業制作に取り組んだり忙しい日々が続きますがそれも今しか出来ない事だと、少しでも多くのことを大学にいるうちに経験しておきたいものですね。ちなみにななかまども、とてもいい経験のひとつです。いつでも新しい編集隊員を募集しています。



ななかまど編集隊

気になった方、参加したい方は北海道情報大学川上研究室 228 までお越しください。

大学院の報告・ななかまど編集隊

## 「第五回 留学生の日本語弁論大会」 について

経営情報学部・教授 玉置重俊

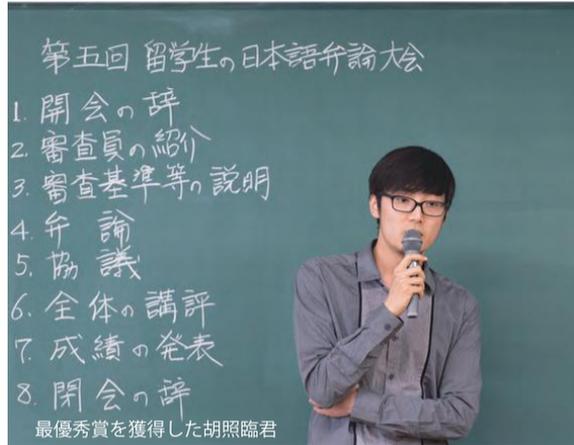


去る6月7日(土)に、外国人留学生委員会の主催で、「第五回 留学生の日本語弁論大会」が開かれ、本学の18名の中国人留学生たちが流暢な日本語で熱弁をふるったので、その具体的な雰囲気や状況に関して、学内の教職員及び学生たちにも、いささか報告してみたい。

大会当日は、教職員が13名見学に来て下さり、学生も14名の参加があり、総勢で45名程度の来場者となって、会場はなかなかの盛況であった。

司会進行役は、国際交流・留学生支援室の今長室長が担当なされ、開式の挨拶は、外国人留学生委員会の委員長である私が行った。その後には、四名の審査員(審査委員長は飯嶋先生、竹内先生、若松先生そして私)が紹介され、また審査委員長からは、弁論をする際の注意事項、及び審査方法・基準などの詳細な説明もあり、だんだんと会場内の緊張感が高まってきた。因みに、弁論の発表時間は五分以内だが、各留学生の発表後には、その弁論に伴う質疑応答の場もあり、そのできばえも審査対象になっているため、出場者は最後まで気が抜けない状態に置かれるのだ。

さて、弁論大会での状況と内容について、具体的に触れてゆこう。最初の方に順番のあった留学生たちは、かな



りのプレッシャーがあったのか、やや緊張気味に話していた印象を受けたが、それでも各留学生の日本語の発音はとても良く、日本語の正確さや流暢さに関しては、全体的には、それほど大きな差異はなかったようだ。ただ、自分の原稿を見ながら話す留学生はやはり多く、この点だけは、毎年あまり改善が見られないのが、少し残念であった。発表の際に、各自の原稿に依存することは、審査でも印象が悪くなり、減点対象にされるので、注意する必要がある。

要するに、会場内の聴衆の顔をしっかりと見て、落ち着いて堂々と弁論した留学生は、もちろんその弁論の内容と構成が良ければ、かなりの高得点を取ることができるのである。大会の審査結果だが、最優秀賞を獲得したのは、「日本と中国の贈り物のNG」というタイトルで発表した胡照臨君(情報メディア学科2年)で、彼の発表態度は、確かにとても落ち着いており、本当に自信に溢れていた。また、彼は正確で美しい日本語を立派に話しただけでなく、その内容や構成の面でも高く評価され、審査員全員が最優秀者と認定したように、本番でのできばえは最高であった。

優秀賞は、「ゴミの分別」というタイトルで発表した朱曉瑞君(情報メ

ディア学科3年)と「私の日本生活」というタイトルで発表した周耘冰さん(情報メディア学科4年)の二人が選ばれた。いずれも、日本での留学生生活に密着したおもしろい内容がとても新鮮であり、かつ説得力のある話しぶりも高く評価された。

努力賞には、「あきらめない精神」を発表した周維君(情報メディア2年)、「日本からのサプライズ」を発表した楊業軒君(情報メディア4年)、「私の恋人」を発表した陸亞莹さん(先端経営学科4年)の三名が選ばれた。いずれも、とても良い表情を作りながら、日本語をしっかりと自分の言葉として扱っていた点に、評価が高まったようだ。

最後になりますが、お忙しい中、今回の弁論大会を見学に来て下さった教職員の皆様、及び運営に協力された本学の学生諸君、一貫してご協力下さった国際交流・留学生支援室の黒黒さん及びスタッフの皆様には、心から感謝申し上げます。

これからも、本学の教職員の皆様には、留学生の勉学や生活に対して、常に関心と配慮を持って頂き、彼らを温かくご指導されるよう、お願い申し上げます。私の報告を終わりに致します。

## この先生の裏の顔シリーズ

裏



兵役中のキム・レオンと

### 第4回 平子 玲子先生

情報メディア学部

研究室の扉には「오서오세요.(ようこそいらっしゃい)」のプレート。山の頂上で撮った写真。扉の傍らにはハングル混じりのポスター。そして研究室の片隅には色あせた겨울연가(冬のソナタ)のポスター。まだ持ってたの!

21時にはTVのCS放送から韓国KBSのニュースが流れる。耳で聴きながら食器洗いやストレッチ。夜22時が近づくと動作が早まる。急いで家事・入浴をすませてPCを立ち上げ、画面に見入ること約1時間。「あー、今日はイマイチだった」「今回は絶対見なきゃ」などと口走る。画面に流れるのはなんと韓国ドラマ。インターネット経由で韓国の地上波放送をキャッチしているらしい。2004年以来この習慣は続く。見たドラマは100種を下らないだろう。何のためって?曰く「韓国語学習です」。1993年に家族で韓国へ初めて行った時、まわりはハングル文字のみ。ガイド無しでは右へも左へも行けなかった。「一番近い国なのにこれでいいの?」。これが一念発起の始まりらしい。紆余曲折を経ながらここまで来て、今や字幕なしで

もOKのようだ。韓国訪問歴は30数回、もう国内感覚で動く。買い物値切り方もお手のもの。美味しいお店の情報もどっさり。傍の人間がハラハラするほど韓国に深入りし、現在の研究テーマは「植民地期朝鮮における日本人女性」となり、韓国語で発表した論文も数本という。ライフワーク50歳を過ぎて出会ったようだ。秘かに自負しているのは、いわゆる「한류(韓流)ブーム」が起る前から韓国の魅力に目覚めたことだという。

さてこの人、もうひとつの顔を持っている。ある日10kg近いリュックを背負い、千曲川源流をめざして歩く姿があった。奥秩父の甲武信岳(2475m)～国師岳(2591m)～北奥千丈岳(2601m)～金峰山(2595m)を踏破する2泊3日の山行だ。歩行時間は3日とも約6時間。天候にはあまり恵まれず、最終日はカッパを着て雨の中を歩く。まるで修行僧のようだった。日本の山はすべて信仰と深く結びついてい

る。信仰と無縁なのは白馬岳くらいだという。雨の山行で唯一のなぐさめ・癒しは山に咲く花(高山植物)。この日は素晴らしいアズマシャクナゲの大群落が迎えてくれたそうだ。山歴は30年近い。山の花に魅せられている。PCには訪れた山で撮影した花の写真がびっしり保存されている。歩きながらメモをとる。「1999年7月に登った東北の鳥海山には50種類以上の花が咲いていた」。「2000年7月に登った南アルプスの仙丈岳は30種類以上だった」。山のノートは10数冊となり宝物。きつと棺桶に入れることになるだろう。苦しさを承知で登るという。「頭がからっぽになる」。日頃の喧騒・仕事上のストレスなどをすべて忘れてひたすら足を前に運ぶ。頂上に立ったときの爽快感を味わいたくて、性懲りもなくまた次の山をめざす。最近では雄阿寒岳・雌阿寒岳・阿寒富士を踏破したらしい。次は北アルプスの三俣蓮華岳～鷲羽岳～水晶岳～野口五郎岳の4日間だと騒いでいる。遭難だけはしないでほしい。



2009年11月 韓国ハルラ山頂にて

この先生の裏の顔シリーズ 平子先生

## 松本ゼミ

経営情報学部 先端経営学科



先端経営学科の松本ゼミは、会計分野を研究テーマとしています。ゼミではまず、基本的な財務分析の手法を学びます。今年度の3年生のゼミは、江崎グリコ、森永製菓、ブルボンの三社について有価証券報告書を手出し、ROA、ROEなどの収益性の尺度や流動比率、当座比率などの安全性の尺度を理解することからスタートしました。

また、3年生のゼミでは、「日経STOCK リーグ」に挑戦しています。手元に資金が500万円あると仮定して株式投資を行うとしたら、どのような観点で投資先の企業を選ぶのか。2つのチームに分かれて、ディスカッション中です。

4年生のゼミでは、北海道の信用金庫の今後の在り方について、共同論文

を執筆中です。信用金庫の業績データを手作業で収集して、データベースを構築し、その後、分析を行って、それぞれの信用金庫の特徴をまとめています。

ゼミでディスカッション力、分析力、コミュニケーション力を磨いて、飛躍してもらえればと思います。

## 喜多ゼミ

医療情報学部 医療情報学科

実は、喜多ゼミは、学生の自主性に任せて進められることを密かに画策しています。

卒業研究のテーマを何にするか？講義では興味・関心が持てなくても勉強しなければならないので、卒業研究では、自分の関心事をとことん調べてもらうことにしています。ゼミ生それぞれが、まったく異なるテーマに取り組んでいますので、他の学生の発表を聴き、これまで知らなかった（関心がなかった？）世界が、急に身近なものとして感じられるようです。発表学生も、他の学生の素朴な質問や意見に、自身の課題への理解が深まっている実感と新たな疑問への取り組みが刺激されるようです。



もちろん研究なので、テーマを大きく変えざるをえなかったり、情報の集め方、解釈の仕方、表現方法などの約束事で悩むことは多いとは思いますが、好きなれ

ばこそ、自分の力で満足できる作品を創ってくれることを願っています。

## 福光ゼミ 情報メディア学部 情報メディア学科

福光ゼミでは「セキュリティ」と「暗号」をキーワードにし、「コンピュータセキュリティに纏わる実社会の問題を発見し、解決する」を目標にしています。つまり、こんなことが起きたらコンピュータの安全性に影響を及ぼすかもしれない、一方、こうすれば情報をより安全に守ることができるかもしれないなどをゼミ生自ら考えていきます。しかし、これはとても遠大なことです。

そこで、まず現在考えられるセキュリティに関する問題・解決方法と問題を解決するために必要な道具について学びます。実際に、1冊の本をゼミで輪読し、Webアプリケーションで考えられる攻

撃手法とその対処法について学んでいます。また、問題解決のための道具の1つとして、GUIプログラミングやWebアプリケーション開発法などを習得していきます。これらの勉強を基に、何か問

題を発見し、その解決方法を考え、さらにゼミ生や教員とのディスカッションを重ねることで目標達成を目指していきます。(講師 福光正幸)



## ネパールにて国際教育支援活動 学生アート活動団体「UNIPA」

2014年3月に、有志の国際教育支援活動の一環として、学生アート活動団体「UNIPA」の学生4人と教員1名が、ネパールへ渡りました。



挨拶はナマステ〜！子ども達はみんな陽気



いろいろなワークショップをしました



日本の子どもと描く絵が違っておもしろい



UNIPAの活動は、2013の4月よりNGO つぼみ学校ポカラとともに始まりました。NGOからいただいたネパールのこどもたちの絵をもとにポストカードやグラフィックを制作し、それらの販売による資金をもとに、アートを用いてネパールのこどもたちへ教育支援を行おうというものです。今回、訪問したのは、ポカラという町にあるNGOつぼみ学校・マシナスクール・フェワパブリックスクールの3つの学校です。自然を生かしたワークショップや日本の文化を取り入れたアートワークショップを行いました。子ども達は私たちのたどたどしい英語の説明を夢中になって聞いてくれました。



ポカラはネパールの首都カトマンズより車で6時間ほど。山と湖に囲まれた町です

### メンバー

ネパール渡航メンバー(2014年3月当時): 澤 翔子(代表 情報メディア4年)、篠田 愛香(情報メディア2年)、滝山 智美(情報メディア2年)、熊谷 賢二(院1年)、安田光孝(情報メディア 教員)  
 応援メンバー: 才田 恵梨香、木幡麻衣、清野 和宏、新妻 新太郎、高橋 基、小黒 純代(国際交流・留学生支援事務室)  
 2014年度追加メンバー: 林 哲郎(情報メディア4年)、西川 晃央(先端経営4年) 協力 Dilip BK sunar氏

ネパールは発展途上国とされており、ライフラインが不安定です。停電は日常茶飯事です。家庭の事情で学校に通わず働いている子ども達もたくさんいます。今回はポカラにて国際教育支援の最初の一步である「つながり」をつくることができました。これからは、そのつながりをより太くし、ネパールと日本に貢献していきたいと思えます。英語をもっと話せるようになって子ども達とたくさん話をしたいです。チームも次回の渡航に向けて動いています。これからどんな活動に広がるか楽しみです。(澤 翔子)



ネパールの言葉もたくさん覚えました ←ダルバード(ネパールのカレー定食) ミトチャ〜(とってもおいしい)



ナマステ

## ～ 全員野球～

全員練習 全員出場 全員エンジョイ

# 軟式野球部

HIU Rubber-ball baseball team

近年の軟式野球部は、大会においてある程度の成績を残せるようになり、充実した活動をしています！

初心者も多く、経験者が教え合ったりして切磋琢磨しています。

始めはあまり良い活動が出来ませんでしたが、学生サポートセンターを始め、大学職員の皆様のご協力もあり、ここまで充実した部活動をする事ができました。ありがとうございます。

経験者、未経験者を問わず軟式野球部に興味を持った方は、一度グラウンドまたは部室に足をお運びください！！

一緒に野球しましょう！



TwitterID:@NanshikiHIU  
HP:<http://www.kusaon.jp/team/hiu>

質問・相談があれば  
こちらから☺



# 大学主要行事など

<4月2日~9月1日>

## ◆◆ 教職員の動向 ◆◆

### ◇法人本部◇

#### 《職員》

7月1日付  
(採用)  
財務課係長/杉下 功

### ◇大 学◇

#### 《職員》

6月30日付  
(退職)  
大学顧問/佐々木美喜雄  
教務課課長補佐/岡田 潔  
学生センター事務室就職課就職係主任/谷口 朝子  
(兼務を解く)  
入試課担当事務局次長/大橋 正典(事務局次長兼広報室長)  
7月1日付  
(兼務)  
教務課長/安倍 隆(事務局次長兼通信教育部事務部長)  
(配置換え)  
通信教育部事務部課長/木田 洋(教務課長)  
教務課教務係長/岩本 和生(通信教育部事務部学生係長)  
通信教育部事務部教務係長/笠羽 弘城(通信教育部事務部企画係長)  
通信教育部事務部教務係主任/繁永恵理子  
(通信教育部事務部庶務係主任)  
通信教育部事務部学生係主任/木村 肇  
(通信教育部事務部教務係主任)

## ◆◆ 主要行事 ◆◆

### ◇法人本部◇

5月15日 理事会・評議員会  
19日~23日 有限責任監査法人トーマツ「平成25年度決算監査」

### ◇大 学◇

4月 4日 入学式  
7日~10日 スタートアッププログラム  
6日~7日 新入生宿泊研修  
11日 前期開講  
11日 経営情報学部教授会  
18日 医療情報学部教授会  
情報メディア学部教授会  
25日 全学教授会  
26日 火曜授業実施日  
5月16日 経営情報学部教授会  
22日 学内共同研究成果報告会  
23日 医療情報学部教授会  
情報メディア学部教授会  
28日~30日 春の食生活改善運動  
30日 保護者の会役員会  
全学教授会  
6月 7日 留学生日本語弁論大会  
10日 創立記念日  
13日 経営情報学部教授会  
20日 医療情報学部教授会  
情報メディア学部教授会  
20日~21日 体育祭  
23日~28日 授業参観週間  
27日 全学教授会  
28日 火曜授業実施日  
南京大学外国語学院留学生準備クラス聴講生入学試験  
酪農学園大学交換授業  
7月 5日 経営情報学部教授会  
11日 医療情報学部教授会  
18日 情報メディア学部教授会  
26日 留学生日帰りバスハイク  
8月 7日~8日 A〇入学試験(A日程)  
18日~23日 夏期集中授業期間

### ◇大学院◇

4月 4日 研究科委員会  
7日 学位論文等研究計画発表会  
25日 研究科委員会  
5月17日 推薦入学試験  
7月 1日 研究科委員会  
8月 5日~6日 学位論文等中間報告会  
(兼北海道情報大学学術奨学生選考会)

### ◇通信教育部◇

7日 前期IPメディア授業放映開始  
9日 平成26年度第8回入学者選考  
5月24日~25日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験①  
6月13日~15日 前期地方スクーリング(1)  
7月 4日~6日 前期地方スクーリング(2)  
14日~17日 前期IPメディア授業科目試験  
19日~20日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験②  
22日 新潟教育センター 大学見学  
28日~8月2日 夏期スクーリング(1)  
8月 4日~9日 夏期スクーリング(2)  
9月 1日 後期IPメディア授業放映開始

## ◆◆ 広報活動 ◆◆

### 《進学相談会》

4月:北海道18会場(帯広(2)、旭川(2)、札幌(3)、函館(2)、大樹、稚内、花川南、小樽、北見、苫小牧、中標津、室蘭、釧路)  
神奈川県1会場(横浜)  
5月:北海道15会場(札幌(4)、静内、帯広、旭川(2)、釧路、北見、名寄、紋別、枝幸、稚内、新札幌)  
6月:北海道19会場(函館、新札幌、釧路、網走、札幌北(2)、中標津、旭川、名寄、北見、留萌、帯広、稚内、札幌、八雲、滝川、知内、江差、小樽)  
埼玉県1会場(さいたま)  
7月:北海道3会場(苫小牧、根室、札幌)  
8月:北海道6会場(苫小牧、旭川(2)、北見、函館、札幌)  
《高校内ガイダンス》  
4月:北海道3校(江陵高校、滝川西高校、駒澤大学附属苫小牧高校)  
東京都1校(杉並学院高校、昭和第一高校)  
5月:北海道7校(檜山北高校、クラーク記念国際高校(本校)、北星学園女子高校、北海学園札幌高校、小樽明峰高校、南幌高校、札幌龍谷学園高校)  
埼玉県1校(埼玉栄高校)  
東京都2校(豊南高校、東京実業高校)  
神奈川県3校(横浜清風高校、相洋高校、向上高校)  
6月:北海道11校(札幌北斗高校、札幌創成高校、旭川実業高校、札幌静修高校、旭川龍谷高校、飛鳥未来高校、当別高校、札幌光星高校、倶知安高校、札幌南陵高校、札幌山の手高校)  
埼玉県1校(小松原女子高校)  
千葉県1校(敬愛学園高校)  
東京都1校(昭和第一高校)  
7月:北海道7校(クラーク記念国際高校(白石)、北海高校、クラーク記念国際高校(大通)、北照高校、標津高校、帯広北高校、斜里高校)  
埼玉県1校(浦和学院高校)  
東京都1校(杉並学院高校)  
8月:北海道3校(本別高校、岩見沢西高校、帯広三条高校)

### 《高校内進路講演会》

4月:北海道1校(上川高校)  
6月:北海道4校(札幌山の手高校、札幌丘珠高校、穂別高校、阿寒高校)  
7月:北海道2校(知内高校、北海道栄高校)  
8月:北海道2校(釧路明輝高校、札幌北高校(定時制))

### 《高校出張講義》

6月:北海道4校(クラーク記念国際高校(白石)、苫小牧中央高校、札幌創成高校、札幌南高校(定時制))  
7月:北海道4校(小清水高校、釧路明輝高校、斜里高校、美瑛高校)

### 《高校訪問》

4月:北海道50校、埼玉県3校、東京都7校、神奈川県2校  
5月:北海道208校、栃木県1校、埼玉県2校、千葉県2校、東京都2校、神奈川県2校  
6月:北海道68校、埼玉県3校、千葉県1校、神奈川県1校  
7月:北海道208校、秋田県22校、埼玉県2校、千葉県1校、東京都6校、神奈川県3校

### 《オープンキャンパス》

4月20日;本学  
5月25日;本学  
6月 8日;本学(女子カフェ:女子限定)、15日;本学、22日;本学  
7月20日;本学、27日;本学  
8月 3日;本学、7日;北見・釧路、8日;旭川・帯広・函館、24日;本学、31日;本学  
《A〇入試・奨学金説明会》  
6月29日 12月 8日 本学

### ◇通信教育部◇

《入学説明会;本学独自》  
6月:1会場(東京)  
7月:8会場(本学、東京(3)、福岡、名古屋、大分、大阪)  
8月:2会場(札幌、鹿児島)  
《合同入学説明会;私立大学通信教育協会主催》  
8月:5会場(名古屋、大阪、東京、札幌、福岡)

## ◆◆ 主な来学者 ◆◆

### ◇広報室来学者◇

5月 7日 旭川商業高校(大学見学:生徒80名、教員4名)  
9日 旭川龍谷高校(大学見学:生徒5名、教員1名)  
駒澤大学附属苫小牧高校(大学見学:生徒18名)  
松前高校(教員1名)  
14日 函館大学付属柏稜高校(教員1名)  
26日 南幌高校(大学見学:生徒44名、教員1名)  
6月12日 大樹高校(大学見学:生徒1名)  
17日 札幌新陽高校(大学見学:生徒20名、教員1名)  
20日 札幌平岡高校(大学見学:生徒76名、教員4名)  
27日 江別高校(大学見学:生徒19名)  
7月 4日 高校教員バス見学会(教員25名)  
7日 松風塾高校(教員1名)  
16日 旭川明成高校(大学見学:生徒27名、教員1名)  
23日 函館大学付属有斗高校(教員1名)  
28日 釧路明輝高校(高大連携大学見学:生徒2名、教員2名)  
8月 5日 函館西高校(教員1名)、白樺学園高校(教員1名)  
旭川明成高校(教員1名)  
8日 留萌千望高校(教員1名)

# 学校法人 電子開発学園 平成25年度決算の概要

平成25年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせ致します。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

## ① 資金収支計算書

平成25年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較すると、収入は手数料収入が予算対比2百万円増加、寄付金収入が予算対比3百万円増加、補助金収入が予算対比11百万円増加、資産運用収入が予算対比8百万円増加、資産売却収入は有価証券の期限前償還等により予算対比2億円増加、学費前受金収入が予算対比1億79百万円増加、その他の収入では退職給与引当特定預金からの繰入収入が15百万円増加し、前年度より繰越された支払資金の43億77百万円を加えると、収入合計は90億89百万円となり、予算対比3億94百万円の収入増となりました。

支出については、人件費が予算対比2百万円減少、教育研究経費及び管理経費については、予算対比38百万円減少しました。資産運用支出は有価証券の購入により、予算対比1億91百万円増加、設備関係支出では教育研究用機器備品支出が予算対比16百万円増加し、次年度への繰越支払資金は44億38百万円で、予算対比2億1百万円の増加となりました。

## ② 消費収支計算書

平成25年度の消費収支計算書により予算と決算を比較すると、収入は手数料が2百万円、寄付金が4百万円、補助金が11百万円、資産運用収入が8百万円と予算を上回り、その結果、帰属収入合計は44億7百万円で予算対比25百万円の増加となりました。基本金組入額はタブレット端末の購入及び受託研究用機器備品の購入、機器備品の除却で2億19百万円となり、予算対比19百万円の増加となりました。消費収入合計は帰属収入合計から基本金組入額を差引いて、41億88百万円で予算対比6百万円の収入増となりました。

支出については、予算より決算支出が減少となり、人件費が19億94百万円で予算対比1百万円減少、教育研究経費・管理経費は21億36百万円で予算対比

34百万円減少、資産処分差額は11百万円で機器備品処分差額が予算対比1百万円減少、徴収不能引当金繰入額等は26百万円で、予算対比3百万円減少となり、消費支出合計は41億84百万円で、予算対比37百万円の支出減となりました。

以上により、当年度消費収入超過額は4百万円となり、翌年度繰越消費収入超過額は8億85百万円となりました。

## ③ 貸借対照表

平成25年度末における資産の部合計は149億22百万円で前年度末対比72百万円増加しました。その内訳は固定資産では主に建物が外壁改修等で88百万円増加、減価償却額で1億91百万円減少、構築物が減価償却額等で10百万円減少、建設仮勘定は外壁改修等が完了し、46百万円減少、有価証券の償還及び購入で8百万円減少、長期預金が1億円増加、退職給与引当特定預金が33百万円増加し、102億97百万円で前年度末対比28百万円減少となりました。流動資産は46億24百万円で前年度対比1億円増加し、主に現金預金が61百万円、未収入金が27百万円増加しました。

負債の部合計は32億88百万円で前年度末対比1億51百万円減少しました。その内訳は固定負債が主にeDCタワー等の長期借入金が1億1百万円減少、長期未払金が30百万円減少、退職給与引当金が38百万円増加し、合計93百万円減少となりました。流動負債は主に未払金が25百万円増加、学費前受金が78百万円減少、預り金が5百万円減少し、合計58百万円減少となりました。

基本金の部合計は107億48百万円で前年度末対比2億19百万円増加しました。その内訳は建物・教育用機器備品・図書・教育研究用ソフトウェア等の固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金への組入額が2億19百万円となっています。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により年々厳しくなっています。本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、教育サービスの見直しを進めて定員を確保する必要があり、徹底したコスト削減に取り組み、安定した学校経営を推進する所存です。

①資金収支計算書 平成25年4月1日～平成26年3月31日

収入の部 (単位:円)

| 科 目         | 予 算             | 決 算             | 差 異           |
|-------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 学生生徒等納付金収入  | 3,633,051,000   | 3,633,125,020   | △ 74,020      |
| 手数料収入       | 30,370,000      | 32,601,776      | △ 2,231,776   |
| 寄付金収入       | 2,050,000       | 5,436,000       | △ 3,386,000   |
| 補助金収入       | 428,328,000     | 439,713,809     | △ 11,385,809  |
| 国庫補助金収入     | 389,078,000     | 404,604,000     | △ 15,526,000  |
| 地方公共団体補助金収入 | 39,250,000      | 35,109,809      | 4,140,191     |
| 資産運用収入      | 61,481,000      | 69,050,425      | △ 7,569,425   |
| 資産売却収入      | 200,000,000     | 400,095,760     | △ 200,095,760 |
| 事業収入        | 165,241,000     | 166,134,745     | △ 893,745     |
| 雑収入         | 35,459,000      | 34,618,076      | 840,924       |
| 前受金収入       | 1,402,005,000   | 1,581,368,401   | △ 179,363,401 |
| その他の収入      | 129,123,000     | 138,690,785     | △ 9,567,785   |
| 資金収入調整勘定    | △ 1,768,563,000 | △ 1,788,641,346 | 20,078,346    |
| 前年度繰越支払資金   | 4,376,650,000   | 4,376,649,433   | 567           |
| 収入の部合計      | 8,695,195,000   | 9,088,842,884   | △ 393,647,884 |

支出の部 (単位:円)

| 科 目       | 予 算           | 決 算           | 差 異           |
|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 人件費支出     | 1,939,997,000 | 1,937,877,646 | 2,119,354     |
| 教育研究経費支出  | 1,197,222,000 | 1,163,884,415 | 33,337,585    |
| 管理経費支出    | 654,856,000   | 650,584,665   | 4,271,335     |
| 借入金等利息支出  | 16,549,000    | 16,547,929    | 1,071         |
| 借入金等返済支出  | 101,472,000   | 101,470,000   | 2,000         |
| 施設関係支出    | 56,526,000    | 55,301,400    | 1,224,600     |
| 設備関係支出    | 96,916,000    | 115,274,260   | △ 18,358,260  |
| 資産運用支出    | 373,285,000   | 564,463,984   | △ 191,178,984 |
| その他の支出    | 536,879,000   | 549,117,930   | △ 12,238,930  |
| 資金支出調整勘定  | △ 515,047,000 | △ 503,486,046 | △ 11,560,954  |
| 次年度繰越支払資金 | 4,236,540,000 | 4,437,806,701 | △ 201,266,701 |
| 支出の部合計    | 8,695,195,000 | 9,088,842,884 | △ 393,647,884 |

②消費収支計算書 平成25年4月1日～平成26年3月31日

消費収入の部 (単位:円)

| 科 目       | 予 算           | 決 算           | 差 異          |
|-----------|---------------|---------------|--------------|
| 学生生徒等納付金  | 3,633,051,000 | 3,633,125,020 | △ 74,020     |
| 手数料       | 30,370,000    | 32,601,776    | △ 2,231,776  |
| 寄付金       | 9,196,000     | 13,672,516    | △ 4,476,516  |
| 補助金       | 428,328,000   | 439,713,809   | △ 11,385,809 |
| 国庫補助金     | 389,078,000   | 404,604,000   | △ 15,526,000 |
| 地方公共団体補助金 | 39,250,000    | 35,109,809    | 4,140,191    |
| 資産運用収入    | 61,481,000    | 69,050,425    | △ 7,569,425  |
| 事業収入      | 165,241,000   | 166,134,745   | △ 893,745    |
| 雑収入       | 54,373,000    | 53,003,111    | 1,369,889    |
| 帰属収入合計    | 4,382,040,000 | 4,407,301,402 | △ 25,261,402 |
| 基本金組入額合計  | △ 200,192,000 | △ 219,354,958 | 19,162,958   |
| 消費収入の部合計  | 4,181,848,000 | 4,187,946,444 | △ 6,098,444  |

消費支出の部 (単位:円)

| 科 目          | 予 算           | 決 算           | 差 異        |
|--------------|---------------|---------------|------------|
| 人件費          | 1,993,291,000 | 1,994,278,173 | △ 987,173  |
| 教育研究経費       | 1,467,695,000 | 1,437,457,872 | 30,237,128 |
| 管理経費         | 702,698,000   | 698,649,280   | 4,048,720  |
| 借入金等利息       | 16,549,000    | 16,547,929    | 1,071      |
| 資産処分差額       | 11,845,000    | 10,650,527    | 1,194,473  |
| 徴収不能引当金繰入額等  | 29,411,000    | 26,466,000    | 2,945,000  |
| 消費支出の部合計     | 4,221,489,000 | 4,184,049,781 | 37,439,219 |
| 当年度消費収入超過額   |               | 3,896,663     |            |
| 当年度消費支出超過額   | 39,641,000    |               |            |
| 前年度繰越消費収入超過額 | 880,914,000   | 880,913,181   |            |
| 翌年度繰越消費収入超過額 | 841,273,000   | 884,809,844   |            |

③貸借対照表 平成26年3月31日

資産の部 (単位:円)

| 科 目         | 本年度末           | 前年度末           | 増 減           |
|-------------|----------------|----------------|---------------|
| 固定資産        | 10,297,414,351 | 10,325,687,268 | △ 28,272,917  |
| 有形固定資産      | 7,259,366,049  | 7,407,093,711  | △ 147,727,662 |
| 土地          | 1,725,516,149  | 1,725,516,149  | 0             |
| 建物          | 4,692,996,815  | 4,787,043,126  | △ 94,046,311  |
| 構築物         | 63,794,802     | 73,358,111     | △ 9,563,309   |
| 教育研究用機器備品   | 306,049,208    | 302,824,910    | 3,224,298     |
| その他の機器備品    | 41,557,270     | 48,683,153     | △ 7,125,883   |
| 図書          | 424,594,356    | 416,007,506    | 8,586,850     |
| 車輛          | 4,857,449      | 8,017,886      | △ 3,160,437   |
| 建設仮勘定       | 0              | 45,642,870     | △ 45,642,870  |
| その他の固定資産    | 3,038,048,302  | 2,918,593,557  | 119,454,745   |
| 教育研究用ソフトウェア | 42,575,805     | 46,947,417     | △ 4,371,612   |
| その他のソフトウェア  | 4,574,849      | 6,109,922      | △ 1,535,073   |
| 有価証券        | 2,264,600,000  | 2,272,100,000  | △ 7,500,000   |
| その他の固定資産    | 726,297,648    | 593,436,218    | 132,861,430   |
| 流動資産        | 4,624,112,799  | 4,523,936,418  | 100,176,381   |
| 現金預金        | 4,437,806,701  | 4,376,649,433  | 61,157,268    |
| 未収入金        | 102,742,599    | 76,185,504     | 26,557,095    |
| その他の流動資産    | 83,563,499     | 71,101,481     | 12,462,018    |
| 資産の部合計      | 14,921,527,150 | 14,849,623,686 | 71,903,464    |

負債の部 (単位:円)

| 科 目     | 本年度末          | 前年度末          | 増 減           |
|---------|---------------|---------------|---------------|
| 固定負債    | 1,085,300,741 | 1,178,363,861 | △ 93,063,120  |
| 長期借入金   | 922,210,000   | 1,023,680,000 | △ 101,470,000 |
| 退職給与引当金 | 117,988,930   | 79,973,438    | 38,015,492    |
| 長期未払金   | 45,101,811    | 74,710,423    | △ 29,608,612  |
| 流動負債    | 2,202,935,980 | 2,261,221,017 | △ 58,285,037  |
| 短期借入金   | 101,470,000   | 101,470,000   | 0             |
| 未払金     | 486,912,630   | 462,112,768   | 24,799,862    |
| 前受金     | 1,581,368,401 | 1,659,315,567 | △ 77,947,166  |
| 預り金     | 33,184,949    | 38,322,682    | △ 5,137,733   |
| 負債の部合計  | 3,288,236,721 | 3,439,584,878 | △ 151,348,157 |

基本金の部 (単位:円)

| 科 目     | 本年度末           | 前年度末           | 増 減         |
|---------|----------------|----------------|-------------|
| 第1号基本金  | 10,437,480,585 | 10,218,125,627 | 219,354,958 |
| 第4号基本金  | 311,000,000    | 311,000,000    | 0           |
| 基本金の部合計 | 10,748,480,585 | 10,529,125,627 | 219,354,958 |

消費収支差額の部 (単位:円)

| 科 目                    | 本年度末           | 前年度末           | 増 減        |
|------------------------|----------------|----------------|------------|
| 翌年度繰越消費収入超過額           | 884,809,844    | 880,913,181    | 3,896,663  |
| 消費収支差額の部合計             | 884,809,844    | 880,913,181    | 3,896,663  |
| 科 目                    | 本年度末           | 前年度末           | 増 減        |
| 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 14,921,527,150 | 14,849,623,686 | 71,903,464 |

情報大学の女子学生の、日々の学校生活をお伝えします！デザインをリニューアルしてみました。

# HIU系 女子の 活動日記

vol.4 課外活動について

8月1日（金曜日） at チュッタ！江別店

お呼びしたメンバー

小林 礼佳さん（4年）…バレーボール部、元部長  
高島 茜さん（4年）…カレンダープロジェクト  
齋藤 朱莉さん（4年）…弓道部  
篠田 愛香さん（3年）…現代美術サークル、現部長



### バレーボール部

「先輩後輩へ当たりなく、  
部員みんな仲良しです！」

バレーボール部は週2回、体育館で練習を行っています。部員は現在20人弱で、8割は初心者でした。去年は市民大会に出場し、社会人のチームと試合をしました。普段の部活動は、アルバイトや部活を掛けもちしている人が多いために人数が集まらない時もありますが、それぞれのペースでゆるく楽しく活動をしています。体育祭ではチームを組んで試合に出場したり、蒼天祭では毎年出店をだし、部員で運営をしています。部活動のみならず色々な場面で部員との繋がりがあ、フレンドリーな部です。私が入部した時から先輩方が優しく接してくれたことから、この親密さをこのまま受け継いでいけたらと思います。



### カレンダープロジェクト

「作品をメディアデザイン  
展にも出展をしています。」

課外活動として、情報大学のカレンダープロジェクトに4年連続参加をしています。自分で撮影した写真にphoto shopなどを使って編集・加工を施しています。カレプロの作品はメディアデザイン展にも出展をしています。また、去年はメディア展に自主制

作でアート作品を出展しました。作品に使用したパソコンやカメラを来場者の視界に入らない位置に設置するのに苦労しました。

★1 イラストや3DCG、写真など各自が得意なジャンルを持ち寄り、カレンダーであると同時に1つの作品集を制作。学外でも配布され、情報大学の学生のスキルをアピールする手段ともなっている。

★2 情報メディア学部生により、札幌大丸藤井セントラルで行われている展示会。本学4年生の卒業制作をはじめ、大学院生の作品、学内コンテストの優秀作品や授業課題、プロジェクト活動の成果などを展示している。

### 弓道部

「2年前に創設されました。  
今では部員は20人ほど！」



弓道部は2年前に創設されて、去年はサークルから部に昇格しました。部員は20人ほどで男女比は8：2です。経験者のみならず初心者もいます。体育館の割り当てがある日は、壁に畳を立てて的を設置し、実際に矢を射る練習をしています。他にも教室で筋トレや、弓道に関する座学を行っています。練習場所も大学のみならず札幌にある練習場へ遠征したりと意欲的に活動しています。今後は団体戦への出場も念頭においています。

### 現代美術サークル

「クリスマスは学内で現美によるツリーを飾っています」



現代美術サークルは、去年卒業された澤翔子さん（情報メディア学部・メディアデザイン専攻）が2年生の時に創設し、4年目となるサークルです。部活棟の2階で、作業したい人が各々集まって作業するスタンスで活動しています。部員は15人弱と去年より減ってしまいましたが、学外のイベントなどにも積極的に参加をしています。最近は何バッチマシーンを新調しました。取材時には、札幌芸術の森で行われる「芸森アートマーケット」に出店すべく、作品を制作中とのことでした。



ハンドメイドや雑貨のような実際に手にするアイテムを制作したり、プログラミングを用いたアート作品を作っているのが特徴です。クリスマス時期には大学の廊下に現美特製のクリスマスツリーを展示し、アートに触れられる環境を作っています。蒼天祭でも飲食ブースを出店しています。去年のブースのテーマは「宇宙」でしたが、今年のテーマは、USJで話題のアレにのっかって、「魔法」です！